

■調査レポート

本公社アンケートによる県内経済動向

【調査の概要】

平成21年10月31日 時点調査（郵送法）
調査対象 県内1,000社
回答企業406社（回答率40.6%）

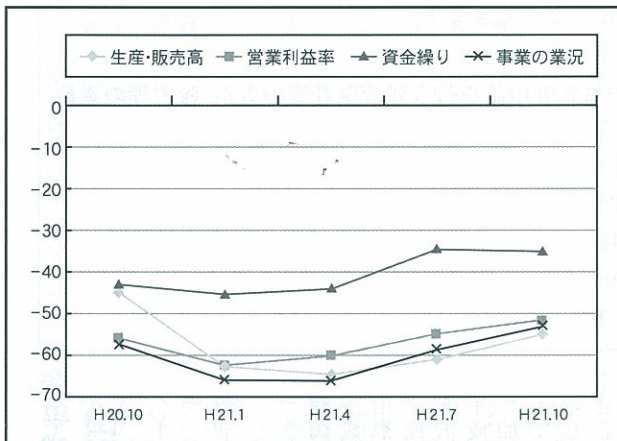
～ 一部に改善が見られるも 今後の見通しは厳しい見方が増える ～

【全産業D I 値】（表1・表2）

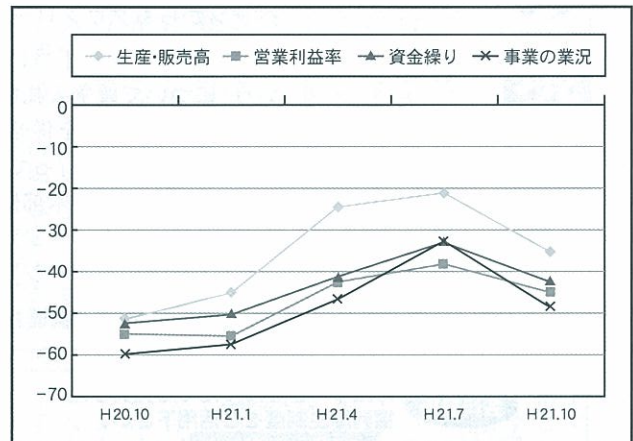
山形県全体のD I 値（※）の前年同月比推移は、資金繰り（H21.7調査▲34.4→今回調査▲34.6）を除き、生産・販売高（▲60.9→▲54.0）、営業利益率（▲54.5→▲51.2）、事業業況（▲58.4→▲52.1）で漸増傾向を示しており、世界同時不況・金融危機以前の状態（平成20年10月）に戻りつつある。

一方、3ヶ月先見通しD I 値をみると（H21.7調査生産・販売高▲20.8→今回調査▲34.9）、（営業利益率▲38.3→▲44.8）、（資金繰り▲33.1→▲42.2）、（事業の業況▲32.5→▲48.3）となり、今後の見通しに厳しい見方をしている企業が多くなった。現在の事業概況は国や県の景気対策等により一部に回復基調がみられるが、来年に向けての警戒感が強まっていることが窺える。

【表1—県計前年同月比D I 値の推移】



【表2—県計3ヶ月先見通しD I 値の推移】

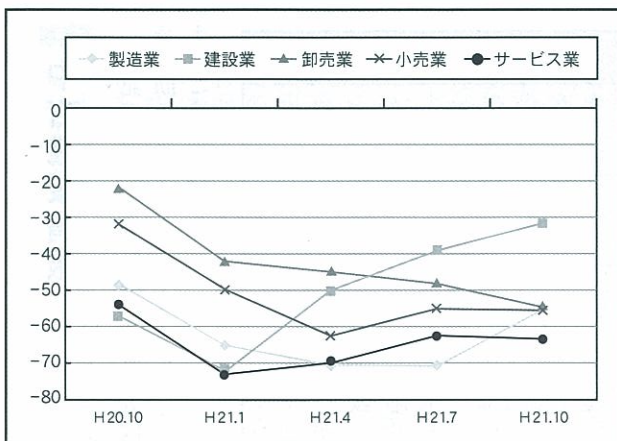


【産業別D I 値】（表3・表4）

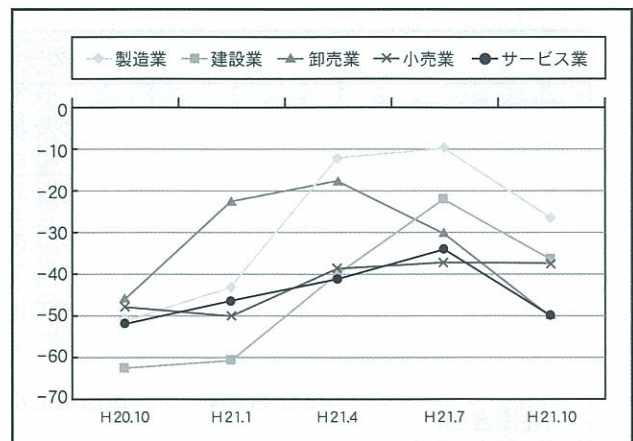
前年同月比D I 値を業種別の推移でみると、今回調査では建設業（H21.7調査▲39.1→今回調査▲30.6）・製造業（▲70.4→▲56.1）は回復基調にあるが、卸売業（▲47.8→▲55.3）・小売業（▲54.9→▲56.7）・サービス業（▲62.3→▲64.5）はいずれも下落傾向を示している。

3ヶ月先見通しD I 値については前回調査まではやや明るさが見られたが、今回の調査では小売業を除く業種で悲観的な見方をしている企業が多い結果となった。（製造業▲9.3→▲27.1・建設業▲22.2→▲36.0・卸売業▲30.2→▲50.0・小売業▲37.1→▲37.0・サービス業▲34.0→▲50.0）

【表3—業種別前年同月比（生産・販売高）D I 値の推移】



【表4—業種別3ヶ月先見通し（生産・販売高）D I 値の推移】



（※）D I 値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数